



荇田西地区 社協だより

2024年2月



第16号

発行元 荇田西地区社会福祉協議会

餅つき大会

荇田西地区社会福祉協議会が主催する餅つき大会が1月13日荇田西小学校グラウンドで開催されました。大会はコロナ禍で実に3年ぶりになりました。

今年も荇田西連合自治会と荇田西小学校協力の会の後援を得ての開催で、自治会の関係者や小学生の父母の皆さんがボランティアとして大会運営に参加して頂きました。杵と臼を用いて皆の見て前で餅をつき、お雑煮とあんこ、きな粉、のりの三色餅に加工して提供しました。当日の気温は少し低めでしたが、冬晴れに恵まれ大勢のお客さんに来場いただきました。テーブル席ではつきたてのお餅を美味しく食べる親子連れの姿やお年寄りの姿が見られました。

11時の販売当初こそ多めに積上げた在庫のおかげで、スムーズにお餅の販売が出来ましたが、在庫が無くなると長い行列があつという間に出来て、人によっては会場に到着してからお餅を受け取るまで一時間以上待たされたそうです。一臼にかかる15分がボトルネックでしたが、この短縮は難しく、子ども向けに用意した臼を途中から



販売用に当てましたが、あまり効果はありませんでした。臼の数を増やせば解決しますが、つき手の確保や費用など難しい問題もあり来年以降の課題とします。今年は20名近くの青葉郵便局の皆さんの協力を得ることが出来ました。子ども臼では餅つき体験と記念撮影を11時と13時から30分ずつ実施しました。

今年はお雑煮600食、三色餅400食の1000食を準備しましたが、三色餅500食を早々に完売してしまい、他方雑煮は余ってしまいました。4年前は逆の展開でしたので、消費動向の把握の難しさを感じました。

餅つき大会が荇田西町内の皆さんに喜んでもらえる恒例行事になってきたことをうれしく思っています。社協の関係者、ボランティアの皆さん、小学校の職員および協力の会の皆さんのおかげで無事に終了することができたことに感謝しております。

えだにしサロン

本年度最後のえだにしサロンは2月13日の川崎市北部市場見学でした。この市場は三年前、同じえだにしサロンで訪れたことがありますが、その時はコロナ感染が猛威を振っていた最中で、何となく気も沈んで、参加者も少なかったように思います。今回は引率係の民生委員、児童委員も含め総勢38人と大きなグループになりました。北部市場は食材の市場なので、参加者も女性が大半となりました。時間は9時少し前で一般の通勤客と重なったこともあり、あざみの駅からのバスが窮



屈になりましたが、何とか無事に到着。三々五々場内を行き来し、あたりを見回しながら買い物ということになりました。魚、肉、野菜、調味料など種類は豊富でしたが、新鮮な海産物に人気が集まったようです。マグロ、いくら、ホッケの干し物、たらこなど、見る見るうちに買い物袋がいっぱいになって、帰り路苦労している

人もいました。買い物の後は3階の食堂街で早めの昼食です。市場内のレストランということで食材は新鮮、揚げたてのアツアツ天ぷらなどを前にして、笑い声が弾み、みな幸せそのものの顔でした。

ウォーキング

立春を過ぎた2月8日木曜日、いつもの猿田公園でのラジオ体操で体をほぐした後、健脚自慢の老若男女（といっても若者は多くありませんでした）22名がウォーキングに出かけました。日陰には二日前の雪の塊が残っており、公園の真ん中には子供らが作った雪だるまが雲の隙間から延びてきた日光を浴びて輝いていました。参加者は保険に入るため名前を記入した後、民生委員から参加賞のお菓子の小袋をいただいて、いざ出発。富士塚の交差点を超えて荏田町に入るとそこかしこの庭先には梅の木が白い花を咲かせておりました。荏田西からほんの10分程度歩くだけで、竹林、雑木林が広がり、周りの風景は大分違ってきます。畑の細道を通り抜けて剣神社に出ると、お賽銭を投げて遅ればせながらの初詣をする人もいました。その後折田不動公園で休憩の後、梅の木が密生する公園の一角で集合写真を撮りました。このころまでに



雲は消えて済んだ青空に竹林の緑と梅の花の白が映え、見事なトリコロールとなりましたので、写真をパチパチパチ。富士塚の交差点で解散となりましたが、一部のメンバーはその後そろってレストランで食事となり大いに盛り上がったそうです。運動と食事そしておしゃべり、荏田西の皆さんのなんて健康的な生活でしょう。例によって写真をたくさん撮りましたので、全員が写っている一枚を上に掲載いたします。

えだにしひろば

クリスマスが待ち遠しい12月。母子14組28人のご参加、ありがとうございました。

今回は、親子さんの自己紹介から始めました。親子さんファーストの会を目指します！トークのテーマは、「私にあげたいプレゼント」。お答えは、「自分に冬休み」「1人で入る温泉タイム」等々。ご家族の方々、ぜひ、プレゼントしてあげてくださいね。ゲストは、ミュージックベルサークル「ザ・フルーツバスケット」さん8名。赤いユニホームやテーブルクロス、手作りリース。



クリスマスムードいっぱいです。メンバーさんはかわいい親子さんに会えてワクワク。2曲の演奏に親子さんも音の鳴るおもちゃで参加。最後にオリガミのサンタさんのプレゼント。小さなお手々でぎゅっと握っていました。

そして今回のプチギフトは、チョコレート・ポーロ・パックの麦茶を入れた、フェルト生地で作ったクリスマスミニバッグ。サンタさん・トナカイさん・雪だるまの3種類からお好きな物を親子で選んでお持ち帰りいただきました。えだにしひろばで過ごした時間が楽しい思い出になりますようにと気持ちを込めて選びました。ベルの練習もお土産選びも、相手を思った優しい時間。きっとみんなに素敵なクリスマスが訪れたことでしょう。



鉄道模型運転会

ラベンダーの会が運営する毎月恒例の鉄道模型運転会も5年目を迎え、毎月第二土曜日の午後、地域の子供達と鉄道模型の運転会を開催してきました。この間に荏田西小学校の「鉄道クラブ」から鉄道の楽しみをみんなと一緒に学ぶ機会を与えていただきました。今では模型の運転だけではなく50年前からの鉄道写真や動画などの発表も行っております。ラベンダーの会は地域のシニアの交流のみならず地域の子供たちとのコラボも行っております。シニアの方々の参加をお待ちしております。

編集後記

年明けの餅つき大会が終わると、早くも立春。本年度の総括と来年度の活動計画を考える季節になりました。コロナで活動停止ないし規模縮小を余儀なくされた三年間でしたが、本年度はほぼ完全復活して元のレベルに戻すことが出来ました。皆様のご協力に心から感謝いたします。荏田西社協の活動は次のQRコードで御覧いただけます。

